

登録コード	HM116100	開講年度	2026					
授業題目	放射線診断学特論					担当教員	藤永 康成 他	
英文授業名	Diagnostic Radiology					副担当	大瀨 歩	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	1年次
講義室				授業形態	講義	備考	オムニバス形式	
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加							
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					画像診断に用いられるエックス線撮影, 超音波, CT, MRI, 核医学検査および血管造影検査の原理を理解し, 各領域において適切に画像診断を進めることができるようになる.		
(2)詳細 /Detailed information	画像診断において, 各モダリティーの原理を理解することは画像所見の成り立ちを理解することにつながり, 画像所見の解釈に際しては必要な知識である. 本講義では, これを踏まえた上で実臨床にどのように応用されているかを学習し, 画像診断に関する臨床研究の計画作成に役立てることができる能力を身につけることを目指す.							
(3)授業の概要 /Overview of course	画像診断に用いられるエックス線撮影, 超音波, CT, MRI, 核医学検査および血管造影検査の原理を学び, 各領域における役割と臨床における画像診断の進め方を習得する.							
(4)授業計画 /Course plan	1. 画像診断法(エックス線撮影, 超音波, CT, MRI, 核医学検査および血管造影検査)の原理と最新撮像法(第1回~第3回) 2. 中枢神経領域の画像診断(第4回~第6回) 3. 胸部領域の画像診断(第7回~第9回) 4. 上腹部領域の画像診断(第10回~第12回) 5. 腎・泌尿器・女性骨盤領域の画像診断(第13回~第15回)							
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	小单元ごとに簡単な小レポート作成とそのプレゼンテーションおよび討論を実施することにより, 各小单元ごとの理解度を調べる. 小レポート30%, プレゼンテーション30%, 討論40%で採点し, 成績評価する. 得点率による評価基準は次の通りとする. 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可.							
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	放射線診断はカバーする領域が広いため, 本講義は单元ごとに課題を与える. 文献検索, レポート作成およびプレゼンテーション可能なパソコンを用意するとともに, メールでの提出が可能な環境を準備すること.							
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	各担当教官のオフィスアワーを参照のこと.							
(8)授業の形式 /Course format	各单元ごとに, 講義を行った後に, レポート作成とそのプレゼンテーションおよび討論を実施する. パソコンでレポート作成しメールで提出できる環境を整備すること.							